

Dialogue 39 Saying what you hope will happen -したいことをいう-

練習問題の正解と解説

(1) 会話を聞いて、圭とジュリーが将来それぞれ何になりたいと言っているかを選びましょう。

1. **What does Kei want to become in the future?**

(圭は将来何になりたいのでしょうか?)

- A **a teacher.** (先生)
- B **a pilot.** (パイロット)
- C **an artist.** (芸術家)
- D **a journalist.** (ジャーナリスト)

正解: C **an artist.** (芸術家)

解説 会話でジュリーに「将来何になりたいか」と聞かれた圭は④“Yeah, I’d like to become an artist.”(うん、芸術家になりたいんだ。)と答えています。そこで解答はCになります。

want to ~は「~をしたい、したがつている」という希望や願望を表す表現です。はっきりと自分の希望や願望を言う表現なので、やや控えめ、又は丁寧な発言にしたい場合は**would like to ~**を使うと良いでしょう。

2. **What does Julie want to become in the future?**

(ジュリーは将来何になりたいのでしょうか?)

- A **a teacher.** (先生)
- B **a pilot.** (パイロット)
- C **an artist.** (芸術家)
- D **a journalist.** (ジャーナリスト)

正解: B **a pilot.** (パイロット)

解説 将来の夢を圭に尋ねられたジュリーは⑩“Yeah, so I’d like to become a pilot.”と答えています。そこで答えはBの**a pilot.** (パイロット) になります。

would like to ~ は **want to ~** よりも控えめ、又は丁寧に希望や願望を表す表現です。

- (2) 圭と彼の友達自分たちの誕生日に何が欲しいかを話しています。
それぞれ何が欲しいかを聞いて、その品物の写真を選びましょう。

1. **I want a bike.** (私は自転車が欲しいわ)

- A 自転車
- B 野球のグローブ
- C パソコン
- D 洋服

正解: A 自転車

解説 “bike”は自転車のことですので、答えはAになります(日本語で言う「バイク／オートバイ」は“motorcycle”と言います)。

主語+“**want + 名詞**”で、『主語』は～が欲しい」という希望・願望を表す文が作れます。
“**want**”を使うと単刀直入になってしまうので、相手に何かが欲しい旨を伝える場合、“**would like + 名詞**”がよく使われます。

2. **I want a baseball glove.** (僕は野球のグローブが欲しいな)

- A 自転車
- B 野球のグローブ
- C パソコン
- D 洋服

正解: B 野球のグローブ

解説 発音がカタカナ語とかなり違いますが、“glove”はグローブのことですので、答えはBになります。

圭はやや単刀直入な **want to ~**表現を使っています。しかし、友人同士の会話や口語であればこの表現はよく用いられます。相手や状況に応じて、より控えめ、丁寧な表現である **would like to ~** と使い分けると良いでしょう。

■“**I want to + 動詞**”と“**I want + 名詞**”を覚えておけば、動詞と名詞を変えるだけで、自分の希望や願望をはっきりと伝えることができます。逆に、何かをしたくない場合や、何か欲しくない場合は、“**I don't want to + 動詞**”や“**I don't want + 名詞**”を使用します。英語圏を旅行、生活するのによく使える表現の1つです。

3. I'd like a computer. (僕はコンピューターがいいな)

- A 自転車
- B 野球のグローブ
- C パソコン
- D 洋服

正解 C パソコン

解説 発音がカタカナ語とは違いますが、“computer”はコンピューターのことですので、答えはCになります。

ハインリックは圭とジュリーよりも年上で、控え目・丁寧な表現を使えるようになってきているようです。“I'd”というのは“I would”を省略したかたちです。

■“would like + 名詞”は「～が欲しい（もらえたら嬉しい）」という“want to + 名詞”よりも控え目・丁寧な表現になります。

これを使って目の前の相手に「～はいかがですか？」という相手の希望・願望を尋ねる表現が作れます。

“Would you like a cup of tea?” (紅茶を1杯いかがですか?)

“Would you like to dance with him?” (彼と踊るのはいかがですか?)